

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立飯田野球場	所管課	スポーツ健康課
所在地	甲府市飯田5丁目11-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成14年4月1日
管理方式	指定管理者(株式会社富士グリーンテック、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立飯田野球場設置及び管理条例		
設置目的	野球の振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	面積:14,362㎡(グラウンド・駐車場・事務室) 左翼:88m、中堅:104m、右翼:91m、内野:クレー舗装、外野:天然芝 スコアボード:パネル式、照明なし		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山日YBS球場(野球場)、緑が丘スポーツ公園(野球場)、富士北麓公園(野球場)、都留市総合運動公園(野球場)、韮崎市営総合運動場(グラウンド)、南アルプスジツスタジアム(野球場)
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	野球場	21,387	22,887	24,584	23,000
	利用者数合計	21,387	22,887	24,584	23,000
	目標値	18,000	18,000	22,000	23,000
	目標値設定の考え方	今年度シーズンオフに一部修繕工事が行われる予定があるので稼働日数が減になる事が予想される。そのため、昨年度実績を大幅に下回る利用者数を目標とした。	中央高等学校の建替え工事に伴い駐車場の確保が難しくなったため、利用者数の多い学童の試合開催が減になる事が予想される。そのため、昨年度実績を大幅に下回る利用者数を目標とした。	平成24年度実績から利用者数の多い学童の試合開催が減になったが、グラウンドゴルフでの利用が想定以上に増えて十分な人員が確保できたので、昨年度実績並の利用者数を目標とした。	施設の稼働率などの利用状況と、グラウンドコンディションの維持を考慮し、前年度目標値より1,000人増の目標値とした。
	対23年度比	100.0%	107.0%	114.9%	107.5%
稼働率		-	-	-	-

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	641,020	460,000	679,370	514,000
	指定管理者委託料	7,580,000	7,580,000	7,580,000	7,505,000
	その他	198,324	160,000	150,738	150,000
	収入合計(A)	8,419,344	8,200,000	8,410,108	8,169,000
支出	人件費	5,809,655	5,400,000	6,127,282	5,676,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	2,354,297	2,800,000	1,936,504	2,493,000
	(うち外部委託費)(B)	1,297,443	1,520,000	926,153	1,543,000
	支出合計(C)	8,163,952	8,200,000	8,063,786	8,169,000
収支差額(A - C)		255,392	0	346,322	0
外部委託比率(B ÷ C)		15.9%	18.5%	11.5%	18.9%
利用者一人当りの経費		331	345	308	326

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年8、9月 実施方法:施設利用者へのアンケート 回答数:111人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設設備の充実度	92.8%	0.0%	7.2%	0.0%
施設整備の充実度	97.3%	0.0%	2.7%	0.0%
予約・手続きの方法	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用料金	99.1%	0.9%	0.0%	0.0%
職員の対応・サービス	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
各項目の平均	97.8%	0.0%	2.0%	0.0%

利用者の意見	グラウンドは芝生が良くて管理が十分されていて申し分ないが、駐車場が狭く、改修工事済箇所以外のフェンスや観戦席、スコアボード等の老朽化が著しい。
利用者の意見への対応	駐車場利用については、隣接する学校施設の協力により、駐車台数の確保を行うなど対処している。施設の老朽化対策については、財政状況を踏まえ、継続して検討していく。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。また直営による順応型管理の徹底で、高利用に耐えるグラウンドクオリティが確保できている。	高い施設稼働率のなかでも、施設を良好な状態に保つことができている。
運營業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。また、利用時間の順応的対応や空き時間帯の有効活用に努めた。	臨機応変な対応により、利用者の利便性の向上に努めている。
自主事業	計画どおりグラウンドゴルフ大会を実施した。大変好評なので今後も継続したい。	事業計画とおり実施されている。
利用状況	年間を通しグラウンドゴルフの利用促進を図ったことで、これまで少なかった平日午後の利用が増え、年間利用者数の増加につながった。	利用者数の増加は評価できる。利用者の確保に向けた取組みを継続していただきたい。
収支状況	直営での施設維持業務や施設修繕を行うことで、外部委託費を削減し、経費を節減することができた。	必要な修繕等を行う中で、支出を抑制できている。引き続き効率的な管理運営に努めていただきたい。
利用者満足度	今後とも利用者の声を聞き、改善できる点は順次行い、より一層のサービス向上に努める。	利用者アンケートにおいて全ての項目で高い評価を得ている。今後とも利用者ニーズを把握し、サービスの向上に努めていただきたい。
運営目標の達成状況	野球場利用者数の目標22,000人に対し、実績値としては、24,584人の利用があった。利用団体の日程調整や、グラウンドゴルフでの利用促進の成果と考える。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	適切な維持管理がされているといえる。グラウンドゴルフの利用促進による利用者数の増加や、外部委託費等の削減など、経営努力がうかがえる。今後も適切な施設管理、利用者の満足度の更なる向上を目指していただきたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	きめ細やかな利用者対応と適切な施設管理を行うことで、利用者満足の高い施設運営を行っている。また、グラウンドゴルフの利用者が増え、施設稼働率も増加しているが、芝生の傷みも多いため、集中的な改善対応等を行いながら、グラウンドクオリティの維持を行う。	

7 管理体制(組織図)

